

近畿運輸局 自動車交通部 旅客第一課 係長 大石 信太郎

H21.10~H29.3 近畿運輸局、大阪運輸支局、京都運輸支局等
バス、タクシー、自家用有償旅客運送等の事務等



H29.4 ~R2.3 国土交通省 自動車局 旅客課 地域交通室
自家用自動車（マイカー）関係制度担当

R2.4~

近畿運輸局

バス（運賃等）、自家用有償旅客運送等の事務

高齢者の移動手段の確保に関する検討会 中間とりまとめ概要 国土交通省

検討の背景

- 高齢運転者による重大な交通死亡事故の相次ぐ発生や改正道路交通法の施行等を背景に、運転に不安を感じる高齢者が、自家用車に依存しなくとも生活を維持していくことが課題
- 昨年11月の「高齢運転者による交通事故防止対策に関する関係閣僚会議」における「自動車の運転に不安を感じる高齢者の移動手段の確保など、社会全体で高齢者の生活を支える体制の整備を着実にすすめる」との総理指示
- 高齢者が移動できる環境の整備について、その方策を幅広く検討するため、「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」を開催

具体的方策

1. 公共交通機関の活用 <ul style="list-style-type: none">・ 高齢者の公共交通機関利用促進策に対する地方公共団体の助成の働きかけ・ 乗合タクシー等高齢者が利用しやすいサービスの導入に向けた地方公共団体等との連携・ タクシーの相乗り促進	4. 許可・登録を要しない輸送（互助による輸送）の明確化 <ul style="list-style-type: none">・ ルールの明確化⇒ 道路運送法上の「許可・登録を要しない輸送」について、ガソリン代等の他に一定の金額を収受することが可能な範囲を明確化【平成29年度中検討・結論】⇒ 営利を目的としない「互助」による輸送のためにNPOが自治体の車両を活用するなど、輸送の対価に当たらない支援
--	---

○急がないといけないので、現場から進めていくため、力を合わせたい。

○力を合わせるために大切なことは。

・ **知識（法令通達 = 不安感※払拭の武器）**

※担当者の不安感（異動、素人、人柄）など

・ **課題感の共有**

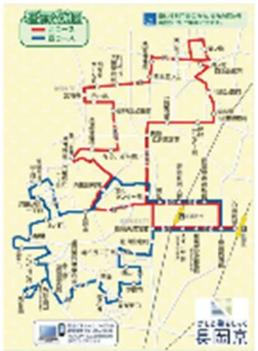
・ **相互（の立場）の理解、尊重**

○関係者の立場を意識した協議の進め方の例

- ・コミュニティバス（京都府長岡京市）のルート変更によるタクシーのメリットを説明

1. 第20回地域公共交通会議について

- はっぴいバスのルート変更案を提案



3. 考察

- 自家用車から公共交通（バス・タクシー）への転換が期待できる。
- 行きにバスを利用し、帰りにタクシーを利用する傾向がうかがえる。
※「帰り」の分担率を「行き」と比較すると、バス（路線バス+はっぴいバス）が減少し、タクシーは増加しているため。

2. 調査結果

○通院の手段分担率の変化（長岡京市民・定期的に通院している人の集計結果）
→ 済生会病院移転後に交通手段転換の可能性の高い地域のみ表示（北コース、長岡天神東側、西山天王山東側の3地区）

	徒歩	自転車	バイク	自家用車	自家用車(送迎)	路線バス	はっぴいバス	タクシー	鉄道
行き									
現在	11%	11%	0%	18%	26%	13%	13%	13%	0%
↓									
将来	13%	5%	0%	8%	16%	8%	47%	16%	5%
						バス計 26% → 55%			
帰り									
現在	13%	11%	0%	18%	24%	16%	11%	16%	0%
↓									
将来	11%	5%	0%	8%	16%	8%	45%	18%	5%
						バス計 27% → 53%			

○病院移転により、バス(路線バス+はっぴいバス)の利用意向は増加、タクシーは微増。
○自家用車(送迎含む)の利用意向が減少。

※ちなみに・・・

道路運送法の許可又は登録の要否は、シンプルに考えていい。

①誰が運送主体か → ②運送主体が何を受け取るか

